

平成 23 年度

**修学旅行の実施状況並びに「感性をはぐくむ
修学旅行」の取り組みについてのアンケート**

関修委研究委員会報告

関東地区公立中学校修学旅行委員会
(事務局：公益財団法人全国修学旅行研究協会)

平成23年度

『修学旅行実施に関する調査集計結果の分析と考察』

～感性をはぐくむ修学旅行の展開～

調査研究のねらい

来年（平成24年度）の新学習指導要領の全面実施にあたり、特別活動の目標を達成するためには、ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、体験活動を充実させていくこと、各教科等との関連を図った指導を実践することとしている。

子どもの現状は知識・技能の習得に比べ「知識・技能を実生活の場に活用する力や表現する力など課題がある」とのことで修学旅行はまさにこれらの課題克服に向けて重要な役割を果たすと考えられる。

関東地区公立中学校修学旅行委員会では、これらを受けて各学校における修学旅行の取り組みについての実態調査を実施した。

本年度は、昨年の『感性をはぐくむ修学旅行の探究』から『感性をはぐくむ修学旅行の展開』をテーマに、生徒の感性に働きかける体験活動を展開するため「学校が訪問地で最も重視した活動は何であるのか」、さらに「修学旅行の事前、事後の活動へ生徒にどのような関わりを持たせたのか」等を調査し、調査研究結果の考察をもとに今後一層の発展を図ろうとするものである。

今年度は3月11日の東日本大震災の影響を受け、関東地区の中学校においても、当初の予定を変更した学校が何校ぐらいあったのか、また変更後の行き先等についても調査する事とした。行き先変更については56校に及んだ。千葉県为学校で東北を含む東日本方面へ予定していた学校がその多くを占めていた。

また、毎年調査を行っている修学旅行実施状況調査も行い、実施時期や実施方面、旅行費用等についても正確に把握し、各学校における修学旅行実施にあたり一助になると考えている。

関東地区公立中学校修学旅行委員会ではここ何年来、専用列車の広島コースの利用について希望を取ってきた。長年JRとの交渉を重ねてきた結果、専用列車が25年度から実施される運びとなった。今年度も利用希望の有無について調査したところである。

今後とも継続調査するものと、年度毎の研究テーマに沿った調査研究を併せて実施し、各学校の修学旅行が今後ますます充実することをねらいに研究を行う。

3. 東日本大震災発生後、東北～関東エリアでは大きな被害を受けました。もし、修学旅行の行き先などで変更がありましたらお聞かせ下さい

1. 貴校は当初予定されていた方面の変更をしましたか
ア. はい イ. いいえ ウ. 検討中
2. 1でアと答えた学校にお聞きします。変更した行き先はどこですか
ア. 関西方面 イ. 信州方面 ウ. 秋田・山形方面 エ. その他 ()
3. 1でウと答えた学校にお聞きします。検討された内容はどんなことですか
()

4. 「感性をはぐくむ修学旅行」の取り組みについて

新教育課程への移行期にあたり、修学旅行の一層充実、改善を目指して関東地区公立中学校修学旅行委員会では「感性をはぐくむ修学旅行」の実現を図るための研修に取り組んでいるところです。学校ではどのような取り組みが行われているのか実践状況をお聞かせ下さい。

1、訪問地で最も重視した活動はどのようなことですか

- ア 歴史や文化遺産・文化財等本物に触れることを重視した活動
- イ 班（グループ）別体験、集団行動・マナーを重視した活動
- ウ 仲間や現地の方等、人と人とのふれ合いを重視した活動
- エ 研究課題調査、事前学習の深化を重視した活動
- オ その他 ()

2、1のア～エに を付けた学校ではどのような直接体験活動が組み込まれましたか、具体的にご記入下さい

- ア ()
- イ ()
- ウ ()
- エ ()

3、修学旅行の実施に向けて生徒はどのように関わりを持ちましたか

- ア コースづくりなど修学旅行の計画・立案に全面的に関わっている
- イ 係り活動など役割分担中心に関わっている
- ウ 班（グループ）での活動を中心にして学習に取り組んでいる
- エ 実行委員やリーダーの他はあまり関わっていない
- オ その他 ()

4、事後の学習や活動はどのように行われましたか（複数可）

- ア 事前学習の確認を教科・総合的な学習の時間等で実施した
- イ 文化祭や、報告会などを開きプレゼンテーションや発表の機会を設けた
- ウ 班を中心とした活動(班新聞等)を学級毎に作成した
- エ 評価項目を設け個人または班毎に評価した
- オ 特別事後指導はしなかった
- カ その他 ()

5、修学旅行の実施にあたり、JR やエイジェント等に要望がありましたらご記入下さい

--

II 調査状況(平成23年度修学旅行の実施状況調査)

- 1 調査対象 関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
- 2 調査の時期 平成23年7月
- 3 調査内容 (1)平成23年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況
 時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用・不参加生徒数
 (2)関西方面連合体の広島コース利用について
 (3)東日本震災の影響について
 (4)感性をはぐくむ修学旅行に向けての取り組みについて

4 回答状況

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	232	166	171	423	382	1,374
回答校数	143	161	102	420	382	1,208
回答率	61.6%	97.0%	59.6%	99.3%	100.0%	87.9%
有効回答数	143	161	102	419	381	1,206
有効回答率	61.6%	97.0%	59.6%	99.1%	99.7%	87.8%

(回答者)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
校長	7	35	16	248	145	451
その他	134	125	86	170	234	749
未記入	2	1		1	2	6

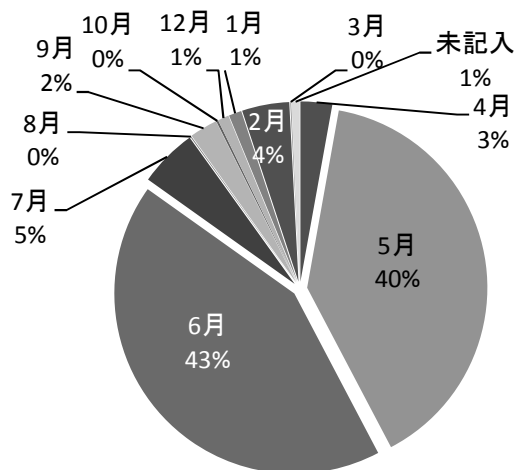
III 実施概況

1 実施時期

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	3	31				34	2.8%
5月	69	85	64	34	225	477	39.5%
6月	69	39	33	231	142	514	42.5%
7月				63		63	5.2%
8月			1			1	0.1%
9月	1	5	1	15	8	30	2.5%
10月			1		1	2	0.2%
12月				12		12	1.0%
1月	1			11	2	14	1.2%
2月			1	48	2	51	4.2%
3月				1		1	0.1%
未記入		1	1	5	2	9	0.7%
合計	143	161	102	420	382	1208	100%

*8月実施は上野村のホームステイのみ

(実施時期)



2 実施日数

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
2日間		1	1			2	0.2%
3日間	143	159	100	419	380	1201	99.4%
4日間					1	1	0.1%
8日間			1			1	0.1%
未記入		1		1	1	3	0.2%
合計	143	161	102	420	382	1208	100%

*8日間の実施は海外研修(ホームステイ)

- ・実施時期については
 全中学校の82%が5～6月に実施している。
- ・昨年度は9月実施は20校であったが今年度は
 30校と大幅な増加が見られた。
- ・連合体の集約列車は5月連休明けからの実施
 となっているが4月実施の学校が栃木県等に
 見られる。(例年30校程度)
- ・実施日数は99%強の学校が3日間となっている。

3 実施方面

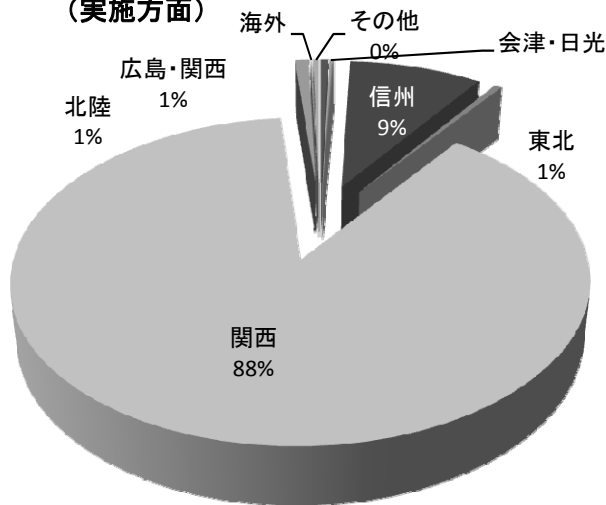
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
東北					6	6	0.5%
会津・日光					2	2	0.2%
伊豆・箱根					1	1	0.1%
信州			1		106	107	8.9%
北陸					6	6	0.5%
関西	143	154	97	417	254	1065	88.5%
広島・関西		7	3		1	11	0.9%
海外			1			1	0.1%
その他					5	5	0.4%
合計	143	161	102	417	381	1204	100%

*その他:岐阜市・富士吉田市・東京都大島・河口湖、石和・みなかみ町

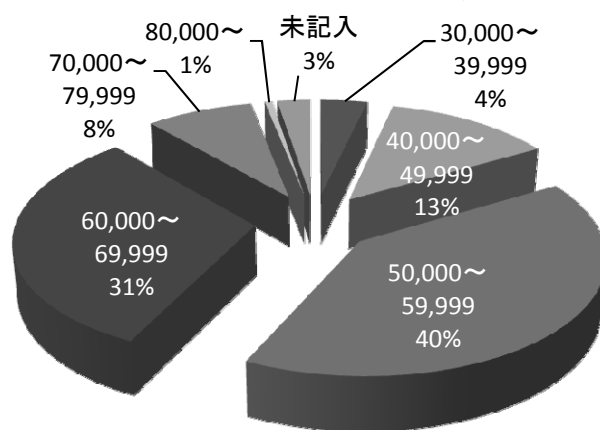
*海外方面は海外研修(ホームステイ)を実施

- ・実施方面は89.4%が関西方面(広島含む)となっている。昨年の88.4%より微増となる。
- ・東北、会津日光方面が大幅減となる。
東北:21校(22年度) ⇒ 6校(23年度)
会津日光:43校(22年度) ⇒ 2校(23年度)
- ・信州方面は大幅増となる。
60校(22年度) ⇒ 107校(23年度)
- ・広島は11校で昨年度と同数である。

(実施方面)



(旅行費用)



4 県別旅行費用(生徒一人当たり平均額)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
30,000~39,999			1	3	40	44	3.6%
40,000~49,999			4	71	82	157	13.0%
50,000~59,999	9	29	30	260	161	489	40.5%
60,000~69,999	90	82	51	69	88	380	31.5%
70,000~79,999	42	44	10		4	100	8.3%
80,000~		6	1			7	0.6%
未記入	2		5	17	7	31	2.6%
合計	143	161	102	420	382	1208	100.0%

- ・旅行費用については継走列車を利用する茨城、栃木、群馬県は60,000円~が最も多く、埼玉、千葉については50,000円~が最も多い。
- ・千葉の30,000円以上、40,000円以上の学校は信州方面へ行っている。
- ・全体の平均は50,000円~60,000円が多い。

5 方面別旅行費用

	東北	会津日光	伊豆箱根	信州	北陸	関西	広島関西	海外	未記入	その他	合計
30,000~39,999	1			37	3	3					44
40,000~49,999	3	1	1	56	2	91				3	157
50,000~59,999	2	1		12	2	465	3		2	2	489
60,000~69,999						378	2				380
70,000~79,999						92	8				100
80,000~						4	2	1			7
未記入				2		27			2		31
合計	6	2	1	107	7	1060	15	1	4	5	1,208

6 方面別費用平均

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	5県平均	最高額	最低額
東北					46,145	46,145	54,000	37,870
会津・日光					51,448	51,448	55,000	47,895
伊豆・箱根					43,000	43,000		
信州			33,100		42,124	42,039	59,342	30,000
北陸					40,667	40,667	53,000	30,000
関西	66,525	66,129	63,687	54,130	57,491	58,920	85,010	35,480
広島・関西		77,117	71,737		62,000	74,275	85,000	62,000
海外							-	-
その他					48,623	48,623	53,332	45,000
平均額	65,802	64,833	56,175	54,512	53,179	50,640	63,526	41,178

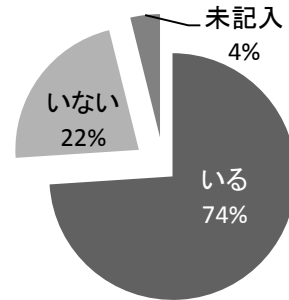
*海外への修学旅行費用(342,000円)は費用平均から除く。

- ・全体の平均額は50,640円である。
- ・関西方面の平均額は58920円となる。
(昨年の平均額より+120円)
県毎の違いは継走列車利用等による。
- ・広島方面(関西含む)の平均額は74,275円となっている。
- ・方面別では千葉県が比較的多方面に行っている。

7-1 不参加生徒数の有無

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
いる	105	115	67	298	309	894	74.0%
いない	34	44	31	98	60	267	22.1%
未記入	4	2	4	24	13	47	3.9%
合計	143	161	102	420	382	1208	100%

(不参加生徒有無)



7-2 理由別不参加の延べ校数と生徒数

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
合計	学校数	105	115	67	298	309	894
	生徒数	326	444	179	1389	1274	3,612
経済理由	学校数	20	22	9	44	42	137
	生徒数	32	37	23	69	63	224
不登校	学校数	82	103	51	251	265	752
	生徒数	208	289	98	821	916	2,332
病欠	学校数	27	27	12	77	78	221
	生徒数	40	36	16	145	110	347
事故	学校数	1	0	0	4	3	8
	生徒数	1	0	0	4	3	8
その他	学校数	30	29	21	118	76	274
	生徒数	42	71	29	238	116	496
内訳不明	学校数	1	4	3	25	9	42
	生徒数	3	11	13	112	66	205

- ・不参加生徒のいる学校は74%となっている。
- 主な理由としては

 - 1.不登校(65%)
 - 2.疾病(約10%)
 - 3.経済的理由(約6%)
 - 4.その他等である。



(理由別不参加割合)

7-3 県別学年生徒数と不参加割合

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
学年生徒数	17,294	18,159	10,864	61,525	50,657	158,499
不参加人数	326	444	179	1,389	1,274	3,612
不参加割合	1.9%	2.4%	1.6%	2.3%	2.5%	2.3%

- ・不参加生徒のいる学校数(894校)は全学校の約74%となる。昨年より約3%の増理由の主なものとしては不登校によるものが圧倒的に多く、続いて経済的理由や疾病などがあげられる。大会参加、その他もろもろの理由が重なっていることも考えられる。

7-4 金額別 経済的理由不参加生徒有 学校数

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
30,000～39,999						
40,000～49,999					4	4
50,000～59,999				3	13	16
60,000～69,999	1	4	7	55	25	92
70,000～79,999	20	25	15	10	18	88
80,000～	11	8	1		1	21
未記入				1	2	3
合計	32	37	23	69	63	224

8 方面別宿泊地
宿泊地(一泊目)

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合	
東北地方	青森					2	2	0.2%	
						1	1		
						1	1		
	山形					4	4	0.3%	
						1	1		
関東地方	東京					1	1	0.1%	
						1	1		
	栃木					2	2	0.2%	
						2	2		
	群馬					1	1	0.1%	
中部地方						1	1		
	新潟					5	5	0.4%	
						3	3		
						2	2		
	山梨					3	3	0.2%	
						1	1		
						2	2		
	長野					92	92	7.6%	
						12	12		
						1	1		
						3	3		
						6	6		
						3	3		
						1	1		
						2	2		
						22	22		
						14	14		
						9	9		
						5	5		
						3	3		
						4	4		
						1	1		
						6	6		
		岐阜			1		15	16	1.3%
					1		13	14	
						1	1		
						1	1		
近畿地方	滋賀	1	6		4	13	24	2.0%	
			1				1		
		1	2				3		
			2		4	12	18		
			1			1	2		
	京都	133	124	82	385	221	944	78.1%	
		133	124	82	385	217	941		
						3	3		
	大阪	1	2	2		11	16	1.3%	
		1	2	2		11	16		
奈良	8	25	12	29	11	85	7.0%		
	8	25	12	29	11	85			
地方国	広島		4	2		1	7	0.6%	
			3	2		1	6		
			1				1		
空白				2	2	1	5		
合計		143	161	101	420	383	1208		

宿泊地(二泊目)

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
東北地方	青森					2	2	0.2%
						1	1	
						1	1	
	山形					4	4	0.3%
						1	1	
関東地方	東京					1	1	0.1%
						1	1	
	栃木					2	2	0.2%
						2	2	
	群馬					2	2	0.2%
						1	1	
						1	1	
中部地方	神奈川					1	1	0.1%
						1	1	
	新潟					6	6	0.5%
						1	1	
						3	3	
						1	1	
						1	1	
	山梨					2	2	0.2%
						1	1	
						1	1	
	長野					101	101	8.4%
						8	8	
						13	13	
						1	1	
						3	3	
						1	1	
						13	13	
						3	3	
						1	1	
						5	5	
					19	19		
					2	2		
					3	3		
					16	16		
					1	1		
					3	3		
					2	2		
					7	7		
	岐阜			1		5	6	0.5%
						1	1	
						1	1	
				1		3	4	
近畿地方	滋賀		6		3	14	23	1.9%
			1				1	
			2				2	
			2		3	13	18	
			1			1	2	
	大阪				1	6	7	0.6%
					1	6	7	
	京都	137	152	98	403	231	1022	84.6%
						2	2	
		137	152	98	403	230	1020	
	奈良	6	2	1	9	1	19	1.6%
					1		1	
		6	2	1	7	1	17	
				1		1		
兵庫				1	3	4	0.3%	
				1	2	3		
					1	1		

中国	広島			1				1	0.1%
	広島市			1				1	
空白	(空白)				1	3	1	5	
合計			143	161	101	420	382	1208	

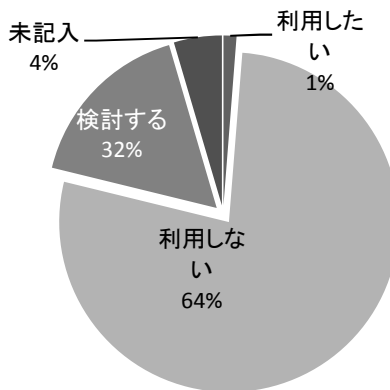
宿泊地(三泊目)

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
近畿	京都					1	1	
	京都市					1	1	
合計		0	0	0	0	1	1	

IV 関西方面連合体の広島コースの利用について

1 広島まで利用可能となりますが、貴校は

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
利用したい	1	8	0	2	4	15
利用しない	101	107	89	318	322	937
検討する	29	45	11	69	47	201
未記入	12	1	2	31	9	55



（広島まで利用可能となった場合）

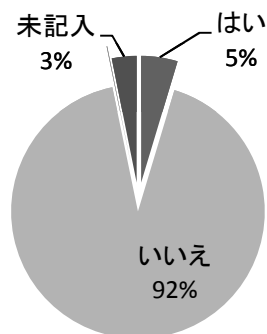
- ・25年度から広島コースが可能となったが、利用したいかどうかを問う。15校がはっきりと利用したいと答えており、検討すると答えた学校も201校にのぼった。
1,153校中201校(17.4%)の学校が検討したいとしている。
- ・今年度11校が広島方面実施となり、可能となった時には今の時点で15校の学校の実施が見込める。
*検討すると答えた学校についても実施が見込める学校が考えられる。
- *連合体の広島コースが平成25年度より可能となりこれまで長年に亘り要望してきたことが実現する事となった。
今後学校の利用状況を見ながら、JRとの意見交換等実施していきたい。

V 東日本大震災の影響について

1 予定方面等の変更は

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
はい	1	0	1	2	52	56
いいえ	139	161	93	393	327	1113
検討中	0	0	0	0	1	1
未記入	3	0	8	25	2	38

（予定方面変更について）



2 変更後の行先は

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
関西方面	1				5	6
信州方面			1		46	47
秋田・山形方面					0	0
その他				1	3	4

※その他：伊豆大島・山梨県・富士方面・神戸から京都

3 検討された内容について

千葉 | 修学旅行の形態や目的地

※該当の学校は群馬にて実施済

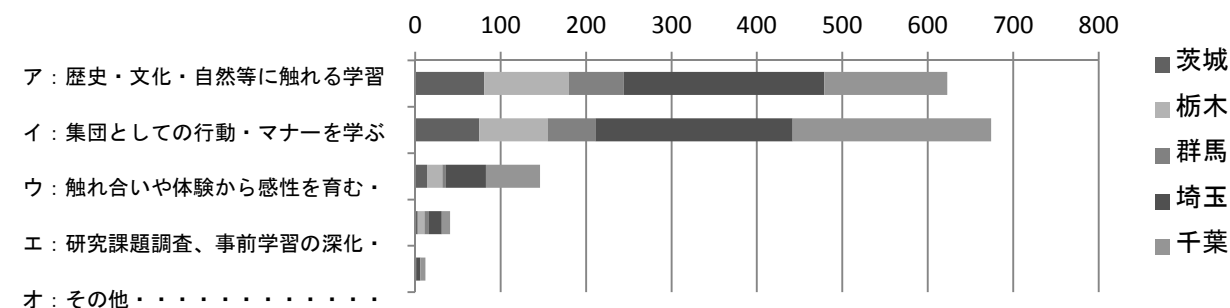
- ・東日本大震災の影響から、予定方面等について検討中と答えた学校は1校であった。
上記のように「形態や目的地」について検討した。
- ・予定方面の変更について56校[56/1,170校(4.8%)]、約5%学校が変更した。
- ・主な変更先
 1. 信州方面へ
 2. 関西方面へ
 そのほか、伊豆大島や山梨・富士方面等へ
- ・千葉県の変更前は会津・日光方面が多く、次いで東北方面であった。
*東日本大震災の影響で東北、会津方面を変更した学校があった。

VI めざす修学旅行に向けての取り組みについて

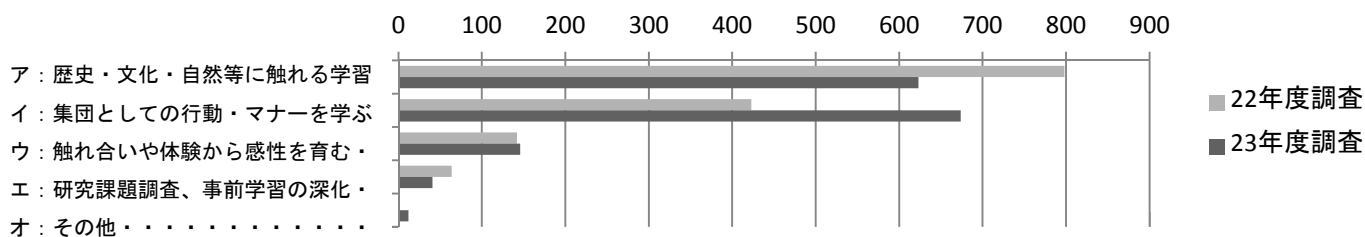
1 修学旅行で最も重視した内容は(複数回答あり)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア: 歴史・文化・自然等に触れる学習	81	99	64	235	144	623
イ: 集団としての行動・マナーを学ぶ	75	80	56	231	232	674
ウ: 触れ合いや体験から感性を育む	14	18	4	47	63	146
エ: 研究課題調査、事前学習の深化	3	8	5	15	10	41
オ: その他	0	0	1	5	6	12

※その他: 法話のお礼に合唱、環境エコ活動、アイウが活動計画にバランスよく入る活動
農業体験、学級別体験活動、体験活動、自分で考え、行動し、責任を持つ



最も重視した内容(昨年度比較)

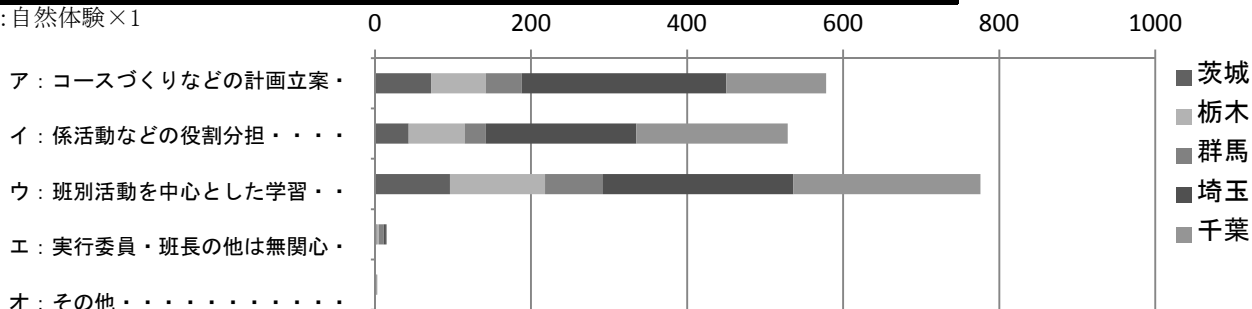


- ・茨城、栃木、群馬、埼玉県についてはアの「歴史文化自然等に触れる学習」を最も重視している事が分かる。千葉県についてはイの「集団としての行動・マナーを学ぶ」事が最も多くなっている。
- ・全体とするとイが若干アをうわまわっている。
- ・昨年度はアがイを圧倒的に上回っていたので、今年度の傾向としてグループ別の体験、マナーへの傾向が昨年より増加している事が分かる。
- ・ウの「人との触れ合いや感性をはぐむ」事については昨年度より若干減少しているがほぼ同様である。千葉県のウが多いのは信州方面での民泊、農業体験などでの影響が大きいものと考えられる。
- ・学習面を全面に出した(学習の深化など)学校は41校が回答している。

3 修学旅行の実施に向けて生徒はどのような関わりを持ちましたか

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア: コースづくりなどの計画立案	72	70	46	262	128	578
イ: 係活動などの役割分担	43	72	27	193	194	529
ウ: 班別活動を中心とした学習	96	122	74	244	240	776
エ: 実行委員・班長の他は無関心	2	3	6	3	1	15
オ: その他	0	1	1	0	1	3

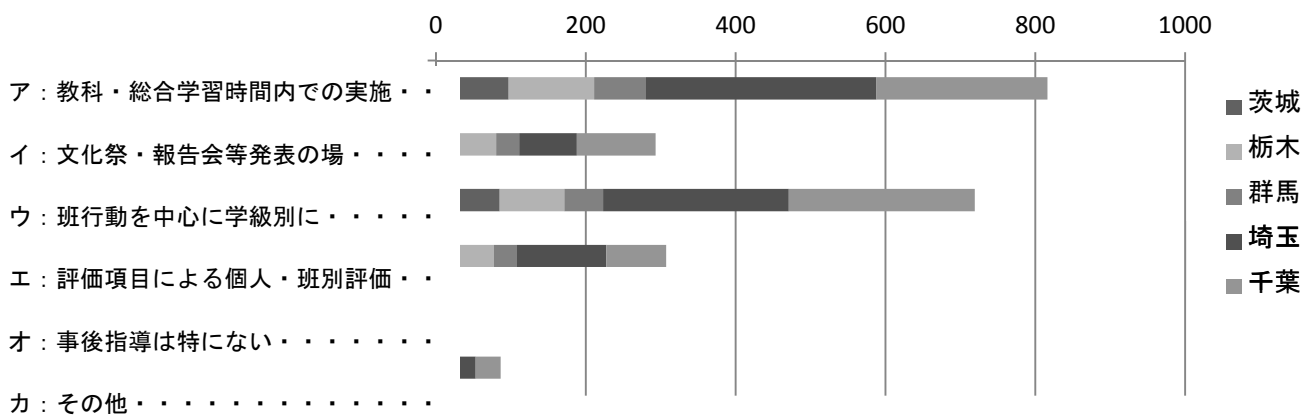
その他: 自然体験×1



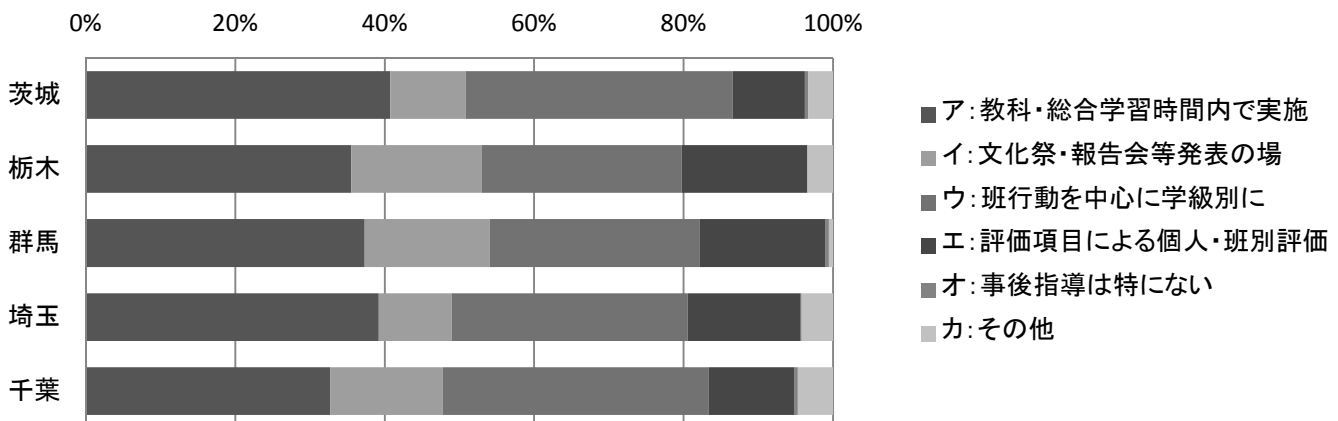
- ・ウの「班別活動を中心としての学習」が最も多く、これが旅行中の班別行動に直接結びついているものと思われる。
- ・アとイについては、ほぼ同じような割合となっている。
- ・エの「実行委員、班長以外はかかわりが少ない」というのは各県ともにわずかであった。
- ・コース作りから計画・立案等全面にかかわるのが578校[578校/1,206校]48%となっている。全体としてのねらいや目標等を自分たちの課題として取り組ませ、事後学習へと進むためにはさらに多くの参加が望まれる。

4 事後学習はどのように行われましたか

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア:教科・総合学習時間内で実施	97	114	69	308	228	816
イ:文化祭・報告会等発表の場	24	56	31	77	105	293
ウ:班行動を中心に学級別に	85	86	52	248	248	719
エ:評価項目による個人・班別評価	23	54	31	119	80	307
オ:事後指導は特にない	1	0	1	1	3	6
カ:その他	8	11	1	33	33	86



(事後学習の内容)



(事後学習の内容・県別)

4-4 その他の活動(抜粋)

レポート作成等		
班毎に報告書作成した	教科(美術・国語)で思い出帳づくりや新聞作りをしている。	
個人でのレポートづくり	各自が、課題について学習し、ポートフォリオ形式でまとめ、発表の機会を設定。	
作文や俳句に体験をまとめた	体験した内容を個別にホワイトブックにまとめ、作成した。	
レポートを作成し、文化祭に展示	学習ファイルとして旅の記録をまとめた資料を個人で作成している。	
修学旅行記をHP形式で作成		
個人新聞、写真コンテ	プレゼン方法等	その他
修学旅行新聞作成	チームごとのプレゼンを行った。	英語でインタビュー
修学旅行感想文集の作成	全校プレゼン	学年便りに感想
思い出のアルバム作成	学年集会	検討中
旅行記作成	係り活動の評価を集会で発表した。	

- ・「教科・総合的な学習の時間を活用して事前・事後学習を実施する」と言う学校が最も多く見られる。次いで、「班行動を中心に学級に任せた形での事後学習」が多い。この2つの方法が他を圧倒する。
- ・「評価項目による個人、班別の評価」や「文化祭、報告会等の発表の場を設定して事後学習、活動に結び付けている」学校も多く見られる。
- ・「その他の活動」として文化祭での展示、修学旅行記をホームページ作成したり学習ファイルとしてまとめたり全校プレゼンを行ったりといった工夫もみられる。

2 組み込んだ直接体験活動について

ア 歴史や文化遺産等に触れる

法話体験, ものづくり体験

タクシー班別研修

和菓子づくり

能・狂言鑑賞

文化遺産, 文化財を訪問する活動

扇子づくり

清水焼絵付け体験

友禅染による扇子づくりを行った。

舞楽や京舞の見学, 鑑賞(護王神社)

文化財等を直接目にし, ガイドさんの話を聞くことで教科書では学べない内容を学習できた。

歴史・文化遺産を中心に位置づけ, 総合の学習の一環として取り組み, 茶道等行った。

寺, 仏像見学。友禅染体験。

北野天満宮での学力向上祈禱体験

自転車で, 班別に遺跡等を見学して歩く。

班ごとにテーマに沿った見学地の選定, 事前学習, 現地で直接見, 感じる体験活動

琴, 茶

法隆寺, 清水寺, 三十三間堂の見学。他は班別活動による見学

仏像の見方を事前に学習し, 見学した中から1つ選び, まとめる。

クラス別奈良研修, 班別京都研修, 能楽研修

京都・奈良の文化遺産見学 日本の伝統芸能である能の鑑賞及び体験

漆器加飾, 京扇子の絵付け, 清水焼絵付け, 西陣織体験から選択

写経体験

大江能楽堂における能楽・狂言の鑑賞と体験

東大寺, 平等院, 清水寺, 三十三間堂をクラスごとに見学

京都市内のタクシー研修で, 班毎に京都の社寺を見学

知識を体験に変える

添乗員による事前学習

宿坊宿泊, 座禅, 僧侶の説話

京都の班行動をシルバーガイドさんと共に行う

本校では, 1年で地域文化, 2年で日本文化3年で日本文化発信をテーマとしている

象眼

班別行動、お菓子作り、保津川下り、抹茶、提灯絵付け

文化遺産、文化財を見学し、触れることで歴史を知る活動。

舞妓さんとの交流 3日目神戸震災体験者との交流

京都のお寺での集会活動

民話ミュージカル鑑賞

着物を着て散策

防災未来センター見学

念珠作り

ペンションオーナー体験

大仏殿、平城宮跡等の見学

琵琶湖ディナークルーズ

松本市内の散策・文化

文化遺産や国宝見学, 郷土玩具づくり

青蓮院体験学習等

ちんどん屋体験

トロッコ列車乗車

ガラス細工

鴨川散策

うるし塗り

公共交通機関を利用した班別自由見学のコース作成と実践

班別行動でそれぞれが体験したい、見たいものに関して、直接連絡をとり、実施した。

各自がテーマを設定して歴史や文化遺産の見学などの活動をした

朗読ボランティアによる講話

東大寺の案内を寺関係者に依頼した

同志社大学との合唱交流

教科書等の授業で扱ったものを見学コースに組み込み本物に触れられるようにする。

奈良の寺院見学、ガイドさん、同行の京都の史跡見学

職場訪問(伝統工業等に係る)

興福寺ナイトハイク、ライトアップされた興福寺を見ることにより悠久の時の流れを感じ取る体験

マナー学習の機会

地域の方との対話活動

古い町並みへの班別行動。伝統文化にかかわるものづくり体験

飛騨の里体験学習(さるぼぼ、菱形千鳥、キャンドル、フォトフレーム)

真の国際人を目指し、一年次より続けている地域(千葉・東京)と

日本の歴史文化を知る学習の一環としての活動。

ラフティング

民泊による農業体験

止観体験

史跡公園散策

三原山登山

外国人にインタビュー

座禅体験(満福寺・妙心寺法堂・建仁寺)

法話(妙心寺法堂・比叡山・青蓮院・薬師寺)

班別自由行動による歴史探索

イ 班別・集団行動を重視

文化遺産、文化財のグループごとの探検、鑑賞

一日乗車券を利用し、地下鉄やバスを使った班別活動を行った

公共の交通機関を利用した班別活動

小規模校であるが、古都(京都市内)を4・5名で散策することで、協力、助け合う態度の育成を組み込んだ。

舞妓の衣や化粧を体験したり、数珠作りを体験した。

1日目:公共交通機関を利用 2日目:タクシー利用

修養体験(青蓮院法話、抹茶、琴演奏鑑賞)

現地の大人の方との礼儀正しい接し方、コミュニケーションの取り方を重視した。(事前・事後)

京都・奈良ともタクシー班別活動を実施し、集団行動、公衆道徳を学ばせた。

博物館鑑賞マナー、宿泊、移動の際の行動を向上するための事前活動

半日タクシー 半日・公共交通機関を利用したグループ別見学

夕方から夜にかけてのグループ別自由散策活動

タクシーによる班別研修(京都)、徒歩による班別研修(奈良)

飛鳥でのサイクリング、座禅(建仁寺)

班別タクシー行動、テーブルマナー、ホテルのマナー、クラス別体験活動

学級別体験活動

学芸員の説明

二日間違うグループで行動した

1日目は自分たちだけでの班活動(奈良)

2日目はシルバーガイドさんと班活動(京都)

3日目はクラス毎に扇子作りや和菓子作りの体験活動を行った

漆器の絵付け

ろうけつ染め

班別行動の際に、あえてタクシーを使わず、公共交通機関を利用することとし、計画を立てた。

班別行動を通して、仲間との協力、責任ある行動がとれるようにする。

嵐山探索

感性の育成

マイバッグ活動、マイ箸活動、植樹活動

シルバーガイドさんをつけた。京都班別行動、同志社混声合唱団こまくさとの合唱交流

視察・見学の中に、心得や観点を明確にした。

京都では班別行動都市計画作りから行った

仲間意識、仕事分担、小集団の中での自分発見。

七宝焼き体験

トロッコ列車乗車

ラフティング、カヌー、ガラススキー、パラグライダー、マウンテンバイク、ヨットセーリング、溪流釣り、林業、田植え、

陶芸、アイス作り、イチゴ狩り、わさび漬けなど

そば打ち、漆工芸、トンボ玉作り、はんこ作り、散策など

ガラス細工、オルゴール作り、時計作り、そば打ち、おやき作りなど

ペンションのオーナーによるパン作り、ピザ作り、パスタ作りなど

ラフティング、キャニオニング、そば打ち、草木染めなど

アウトドア・インドア体験学習、ペンション(オーナー)別体験学習

班別活動、現地体験学習(ざるぼぼ作り)五平餅作り

食事のマナー講座、パンや餅作り、班別行動(見学)

上高地での自然散策、白馬でのラフティングなど体験活動。穂高での体験教室

自然散策、文化遺産見学、女神湖でのカヌー、マウンテンバイク、陶芸

農家との交流、班別計画による観光、ペンションオーナーとの体験

時計作り、ガラス作り、オルゴール作り、わさび漬け、ラフティング、ソーセージ作りなど

ラフティング、土笛作り、カヌーなどその土地で体験できるもの。

陶芸体験、そば打ち、リ्यूター体験、時計作り、オルゴール作りなど

京提灯作り体験

EXアドベンチャー

ダイビング

お好み焼き

京都タワーでの夜景を班別に見学

SKYが'仆'さんを頼み京都の文化・歴史に触れ見聞を広めた

ウ 人と人の触れ合い重視

外国からきている観光客と3人以上話をする。京の言葉話を話して20以上メモする。
京都市内の班別活動において、地元のシルバーボランティアの方々とともに、公共交通機関を使って実施。
現地の方や外国の方と会話する活動を取り入れた。
インタビュー活動
クラス別行動で見学地を回るにより、事前からの計画や当日を通して仲間意識を育てられた。
青蓮院にて座禅、法話、抹茶、箏曲の鑑賞を実施。
事後評価
被爆者講話
タクシー運転手インタビュー
ホテル職員の講演
SKYガイドさんの班別行動による見学
京町家での活動など現地の人と交流した
3日目、大阪で体験学習を行った。(商人、下町散歩、コリアタウン、お好み焼き)
見学場所で挨拶をきちんとさせた。
ジオサイト巡り
西陣織体験
朝市での販売員との会話
挨拶文・御礼文の作成
山菜採り等
溪流釣り
落語クルーズ
シティホテル体験
和本制作
生活班の活用
学年の団結をより強める2日目夜の学年活動
ペンションオーナーとのふれあい。さるぼぼ、グラスアート、マイ箸作りの体験。上高地での仲間とのふれあい。
京都同志社大学のグリークラブとの合同演奏会
農家民泊、生活体験、農業体験

エ 研究・学習の深化

グループ研修に向けて、事前の学習が深まるよう「らくたび講話」をお願いし
京都・奈良の寺社や仏像の見方などを学習
保津川下り体験
神社参拝
学習のテーマ設定
課題解決
京野菜会社訪問
刺繍
平和をテーマとして調査活動を行ったので、深化させるため被爆体験講話や平和公園見学をした
一人最低でも一箇所事前学習で調べた内容を基にして現地で班員のガイドとして案内した
神戸での震災学習
椿油体験
祈祷体験
まとめ新聞の作成
総合学習の完成
殺陣体験

5 修学旅行実施にあたりJRや旅行会社への要望

JR
できるだけ常磐線、新幹線に乗っている時間を短縮したい。
特別列車で他県の学校に挟まれ、トイレが使いづらかった。
行きも常磐線ではなく、高速バスで東京まで行けないか
東京までの集約列車の時間がかかりすぎるため、1日目の活動時間が短くなってしまふ。
帰りも京都発2:00頃にできれば活動制限が小さくできる。
今年度は、震災の影響で、ぎりぎりまで東北新幹線を利用できるかどうかかわからず、とても心配した。
結果として、当初の計画どおり実施できたのでよかった。
喫煙車両にならないようにしてほしい
列車待ち時間の短縮
実施時期が梅雨時で、3日間とも雨天決行。さらに総体の直前(2日前)実施ということで気持ちの切り替えに苦労した。
昨年、今年とも土日の週休日に重なり、振替休業をとった。日程的にバランスのとれたローテーションを要望したい。
JR新幹線の座席割りが出発1週間位前に急に変更になり、慌ててしまったので、変更がある場合には早めに連絡してほしい。
京都駅のアナウンスが恫喝する内容 不愉快
列車での隣接学校を同じ地区にできるとありがたい。隣接学校、事前にわかるとよい。
同乗する中学校名の公開と東京駅での乗り継ぎ時間の短縮。
東京駅での乗り継ぎが1時間以上のロスタイムなので改善が必要。
新幹線の乗り継ぎ、特に帰りの時間ロスが多い改善願いたい。
帰りの新幹線の乗り継ぎ、1時間待ちを短縮できるよう改善してほしい。
新幹線座席割りを早く知らせてほしい。生徒指導上隣の車両の学校名を知らせてほしい。
修学旅行用の臨時新幹線を出していただきありがたいです。
小山駅から東京駅までの新幹線を指定席にしてほしい。
早め早めの行動で、駅での待ち時間が長い
東京駅での待ち時間を短くして欲しい
京都、新大坂の便を増便願いたい 1カ所見学地増
学校の都合に合わせた時刻が欲しい
もっと早く乗車時間を決め、連絡して欲しい
群馬県中体連大会期間なので日程期間を伸ばす
新幹線の団体専用列車にある自販機は使用できないようにしてほしい。
新幹線の車両は、禁煙車をあててもらいたい。
新幹線(団体専用)の号車割りの際、トイレ・手洗いが1ヶ所しかなく、生徒が混乱してしまった。配慮願いたい。
1日目、新幹線の出発時間が早すぎる。あと30分遅いと朝の集合が楽になる。 (本校では大宮駅までの交通手段がバスしかない。職員も前日、ホテル等に宿泊した人2名がいる。)
トイレのある車両を増結していただけるとありがたい。
新幹線の座席数にゆとりがほしい。
新幹線料金、宿泊料、手数料等を低料金にし、保護者の負担軽減を図っていただきたい。
他校との接触への配慮
小規模校での臨時列車の対応を希望
新幹線の発着時刻への要望
秋の修学旅行でも号車を貸し切りに出来た方がよい。
新幹線以外の交通機関の遅れへの対応 ・保護者同行が必要な場合の手続き
生徒車両と一般乗客車両との区別
臨時列車の料金を下げてほしい。
熊谷駅からの新幹線利用
専用列車から新幹線に乗り換える時の待ち時間の短縮
乗り換え等の待機時間の縮小、臨時列車の東京駅乗り入れ
新幹線で一緒になる学校を教えて欲しい(トラブル対策)
小規模校でも新幹線トイレを学校単位で使用できるように
混乗を避けるか、緩衝地帯を設けて欲しい
新幹線初めての生徒もいる。車窓の簡単なガイドで車内アナウンスしたらよいのではないかと。
新幹線が特別専用列車ではなく、一般の方といっしょだったので、これは避けたい。
学校の最寄り駅から東京駅直通の電車(臨時)があると助かる。
新幹線内の座席の割り振りを工夫、考慮して欲しい
東京発の関西方面の新幹線に9時頃出発のものがほしい。7時台は早すぎて保護者の負担が大きい。
あらかじめ新幹線の座席の前後の学校がわかれば教えてほしい

JR
新幹線のトイレの位置を考えて学校の配置をしてほしい
混乗列車における車内販売の中止はできないか
臨時列車のため仕方がないと思うが、時間的にもう少し短縮できるとよい。(バスの方が速い・・・行き)
修学旅行列車は座席数が少なく(ゆとりがないので)、緊急時の職員打合せや
急病人が休養できるような配慮があると助かるのですが！！
運行時間をもっと短縮してほしい。(特に帰り)
筋ジストロフィーの生徒が参加する関係で、洋式トイレの設置の列車または、ポータブルトイレ設置を希望したが、千葉支社での対応にはあまり誠意が感じられなかった。(最終的には解決)修学旅行においても、身障者への配慮がなされるべきである。
修学旅行列車において、余裕をもった座席数を。
複数校で利用する際、学校間に職員を配置できるよう車両確保等の配慮を。
仕方がないことですが、修学旅行専用列車を使うと時間のロスが大きい。
JR京葉線の利用に対して、日曜日出発ではなく、平日でも可能なようご配慮いただきたい。
新幹線の予約を一年前にしてほしい。
変更したこともあり、全員が同じ新幹線に乗れなかった。全体を考えると同じ便で行けるよう今後考えてほしい。
団体列車では、学校間の隙間を作っていたいただけと助かります。
連絡が今回遅かった。
列車の日程の早期決定を願う
土日の運行をはずしてほしい
車両を他校と分けてほしい、京都、奈良間の公共交通機関の確保、宿を貸切にしてほしい
ダイヤの急な変更は避けてほしい。
一般客と一緒に車両で新幹線に乗るのは、できれば避けたいです。
一般の喫煙車両が割り当てられたが、一部気分を害した生徒がいた。
修学旅行の団体車両については、喫煙車を除くなどの配慮をしてもらいたい。
喫煙車両を修学旅行専用列車に使用しないでもらいたい。
なるべく少ない車両で、1つの学校が納まるよう配慮してほしい。
4学級で4両にまたがったことで教員の配置が大変だった
全く座席の余裕がなく、他校と隣り合わせでしたので御一考いただければ幸いです。
東京駅、京都駅での集団待機場所の確保
鉄道代をさらに下げてくださいと助かります
できるだけ同一車両に学校を固めてほしい
部活動の大会のため、出発時の行動が同一にとれない生徒に対する金銭面での保障をJR側でできないだろうか。復路は保障有りと聞いているので。
年によって出発時刻が2時間異なる事があり、コースが大きく変わってしまうので考慮してほしい。
一般客との混乗は難しい。2dayチケット(900円)は申し込み締め切りが早すぎる。
5、6月に実施できるとありがたい。
出発時間帯を8時～9時にしてほしい。帰りの時間を選ぶようにしてほしい。
喫煙席は外してほしい。臭いで生徒の具合が悪くなる。
京都駅での乗車、扉1カ所(グリーン車)のため、時間が足りない。
休日の割り当てだと宿泊費が休日料金になってしまうので、配慮してほしい
日にちを選びたい。
東京駅からの指定席確保ができるとよい
キャンセル料を可能な限り安く
一般客と別の車両で。一般客からクレームがあった。
費用を安く、新幹線の待ち時間に無駄がある。

旅行会社

人数、男女比等に対応した宿舎の選定
生徒の安全面に配慮した宿舎を準備してほしい。
学校の要望やこちら側の気づかないところまで細やかな配慮をしていただき、感謝しています。
学校生徒数に応じた宿舎の割り当て(男女のフロアが同じにならない)
事前準備の時間を多く取っていただき、生徒主体、プロセス重視の修学旅行にしたい。
震災等の災害に対応する保障制度
見積もりを出してもらった際、業者によっては、宿の確保が他社より遅くなるため、契約開始が遅れ、毎月の積み立て額が大きくなり、保護者の負担が大きくなる。早めの宿の確保をお願いしたい。
生徒の実態に合った引率を:けが、肢体不自由、不登校気味
本物の体験活動を掘り起こすのに苦労した。また、学校だから体験できる活動のリストをグレードアップする必要がある。
「事前打合せ」と「添乗」の参加者(エージェン)が同一であること。
生徒一人に対する企画料が高い。担当との細かい打合せが取れなかった。(電話連絡のみが多かった)
本願寺関連の行事のため希望旅館が確保できなかった。宿舎状況も調査してほしい。
旅行代理店の取り扱い手数料や企画料が高すぎる
情報の提供をお願いしたい。
インフルエンザ等集団で欠席する場合の料金増
安全面、学習面の確認と援助(例:班別行動のコース)
添乗する者が事前の打ち合わせを担当する。
料金が高いため検討が必要と思われる
旅行業者の企画料が高いと思う。もう少し安くならないものか。
旅行費用の増加が懸念される
旅行業者による臨機応変な対応が、スムーズな体験活動等につながった。
不測の事態が起きたときの対応
ゆったりした日程、しっかりした学び
5万円台で費用をおさえたい。
宿泊ホテルの精選
小規模校のプログラムがあるとよい。
ホテルと食事を充実したかった。
安価な予算での実施を。
費用をできるだけ安くして欲しい
体験活動中の生徒の安全確保

旅館

宿泊する宿の入浴施設が、なるべく地下にない方がよい。
温かい食事が食べたい
1室の宿泊人数や食事から考えて、宿泊料金が高いのではないかと考えた。
宿泊施設の管理が容易な点

その他

安全克つ計画的に進めることができ感謝
情報の提供と学校の要望に応えるための努力
僻地ではない、少人数の学校への対応
とても親切で、細やかな配慮をしていただき、助かっています。
現在も行われているであろう未来像検討の継続と聞き取り調査の実施
土産物屋の中には、やたらと売りつける、強要するなどマナーの悪い業者がある。指導すべきである。
京都は修学旅行生がたくさんいました。事故やトラブルが少ない配慮がありがたい。
学総大会の前日が修学旅行だったので大変だった。
7月の修学旅行は避けて欲しい。学期末の多忙な時期のため
7月の実施は暑さを考えると避けた方が良いと思います。
安全に修学旅行が実施できることが一番だと思います。よろしくお願いします。
緊急時の対応等事前にわかっていることが容易に確認できるようになっていると助かります。
東北地方の安全性を積極的にPRする
安全第一に不手際のないように
京都での受け入れ体制はよい。
お世話になり、ありがとうございました。

調査結果から

1 関西方面連合体の『広島コース』の利用可について

- ・長年に亘り希望校数等の調査結果をもとにJR側に対して要望してきた『広島コース』が平成25年度より新設された。各学校での平和教育の充実と修学旅行における選択肢の増加に寄与するものとなった。
- ・今年度は15校が「利用したい」と答えており「検討したい」学校は201校となっている。今後の利用は増加していく可能性がある。

2 東日本大震災発生後、東北～関東エリアでは大きな被害を受けました。もし、修学旅行の行き先などで変更がありましたらお聞かせ下さい。

- ・東北～関東エリアより信州や関西方面へ56校(4, 8%)が変更した。特に千葉県は、震災前は会津・日光方面が多かったが、そこからの変更が大部分である。
- ・今後、会津・日光方面が安全であるという客観的なデータが示される事が大切である。保護者や学校の適切な判断材料となる。

正しい情報が流れる事により東北～関東エリアの変更も減少してくるものと考えられる。

3 「感性をはぐくむ修学旅行」の取り組みについて

(1) 訪問地で最も重視した活動はどのような事ですか

- ・昨年度は、「歴史・文化・自然等に触れる学習」が「集団としての行動・マナーを重視」を圧倒的に上回っていたが、今年度は「グループ別の体験」「マナーを学ぶ体験」が増加傾向にある。
 - ・千葉県の場合は「班別体験、集団行動・マナーを重視」が他を圧倒するが、他の4県では「歴史・文化・自然等に触れる学習」が若干上回っている。
- 方面別で千葉県は他県より信州方面に行く学校がかなり多く、旅行方面と関わりが考えられる。

(2) どのような直接体験が組み込まれましたか、具体的にご記入ください

- ・「歴史や文化遺産に触れる」...座禅・能・狂言鑑賞・清水焼絵付け体験・着物体験・茶道・友禅染体験・僧侶の説明・京扇子の絵付け・チンドン屋体験民話ミュージカル鑑賞・琵琶湖ディナークルーズ等があった。
- ・「班別集団行動」...公共の交通機関を利用した班別行動、現地の大人の方との礼儀正しい接し方、事前・事後指導を取り入れコミュニケーションの取り方について学ぶ、SKYガイドさんを頼み京都の歴史、文化に触れ見分を広める

明日香でのサイクリング、シルバーガイドさんとの班活動、ラフティング、グラススキー、ヨットセーリング、溪流釣り

1日目：自分たちだけの班活動（奈良）

2日目：シルバーガイドさん班活動（京都）

3日目：クラスごとに京扇子作りや和菓子作りの体験活動

- ・「人と人との触れ合い重視」…インタビュー（外国人へ、地元の方へ）会話する活動を取り入れる、地元シルバーボランティアとの触れ合いを重視ジオサイト巡り、朝市で販売員との会話、ペンションオーナーとのふれあい、生活体験、農業体験等、同志社大グリークラブと合同演奏会
- ・「研究課題調査、事前学習の深化を重視」…グループ研修に向けて、学習が深まるよう「らくたび講話」を依頼して京都奈良の寺社、仏像の見方など学習、京野菜会社の訪問、神戸で震災学習（事前に被災校の校長講話）等
平和をテーマに調査活動を行ったので深化のため被爆体験講話や平和公園見学

これまでの体験活動に比べると各学校で一工夫したものが見られるようになった。学校でのねらいに沿った体験活動がこれまで以上に広まりつつある。

(3) 修学旅行の実施に向けて生徒はどのように関わりを持ちましたか

- ・「班活動での活動を中心とした学習」が776校
「コースづくりなどの計画立案に全面的に」578校
「係り活動などの役割分担中心に」529校となっている。
「班別」「コース立案」「係り活動」等、どれも「実生活の場に活用する力・表現する力」の育成には欠かすことのできないものとなっている。
- ・「班別活動を中心とした学習」、「コースづくりなどの立案」、「係り活動などの役割分担」等を1年生から継続的に取り組み、修学旅行での集大成の場とする等の系統的な取り組みをプロデュースすることが必要である。

修学旅行に向けての事前学習時間の減少に伴って生徒が全面に立って計画の企画立案に係わる機会が少なくなっている。もっと生徒が中心となり修学旅行を主体的に取り組めるチャンスとしたい。

(4) 事後の学習や活動はどのように行われましたか

- ・「教科・総合的な学習の時間内で実施」と「班行動を中心に学級別に実施」という事後学習が大半をしめている。事後指導（学習）の時間がなかなかとりに

くくなっている中、学校で時間を捻出して取り組んでいる様子が伺える。

いずれにしても生徒の活動が「目に見える」ように配慮され、効果的な方法を工夫改善する必要がある。

表現力や実生活の場で活用する能力をはぐくむため発表の場を設けたり、評価をすることは今後ますます大切になってこよう。

まとめと今後の課題

<まとめ>

・来年度から実施される新学習指導要領では、修学旅行のねらいや修学旅行を通じて育てたい資質や能力を明確にして、体験活動を充実させていくことが求められている。本年度、関東地区公立中学校修学旅行委員会では「感性をはぐくむ修学旅行の展開」をテーマとし、各中学校の充実した体験活動ができるよう様々な調査研究を実施してきた。

アンケートから多くの生徒は「班別活動を中心とした学習」「コースづくりなどの計画立案」「係り活動などの役割係り活動」等に関わっており、修学旅行で最も重視された内容は、「集団としての行動・マナーを学ぶ」「歴史・文化・自然に触れる」「ふれあい体験から感性をはぐくむ」等であった。

今回、船橋市立御滝中学校の足立先生からは「キャリア学習をメインとする修学旅行の実践」と題し会津や喜多方でのふれあい学習になるまでの変遷の発表がある。会津と御滝中が築き上げた絆。そして、今年度、東日本大震災後の原発問題により33年間継続してきた旅行先(会津方面)の変更。学校が判断した苦渋の選択。等々の発表がある。

また、船橋市立法田中学校の波田地先生からは「ふれあいをメインに置いた体験活動」と題し、コミュニケーション能力の育成をめざした修学旅行を展開した実践発表がある。自然学習・農村体験、ペンション体験を中心とした貴重な発表である。

これらの2つの実践例と調査研究されたアンケートは、今後の各学校の「修学旅行」の方向性を考える参考にさせていただき一層充実した体験活動が展開されるようになればと考えている。

<課題>

(1) 東日本大震災発生後、東北～関東エリアでは大きな被害を受けたため、東北～関東エリア方面への修学旅行を信州や関西方面へ変更した学校が56校もあった。来年以降についても回復状況によっては、方面変更など考えられる。

適切な情報収集など大変重要なところである。

(2) 「広島コース」が平成 2 5 年度から可能となったが、最大人員枠の問題や出発時刻の問題など今後も要望すべき点があるので協議を継続して行う必要がある。

(3) 今回の調査から修学旅行の実施に向けて生徒の取り組み方は「班活動を中心として学級ごとの取り組み」が主流であることが分かる。

修学旅行を実施するにあたっては「ねらいや目標」について、生徒がどのように理解しているのかが大変重要なところである。事前学習や事後学習への主体的な取り組みに影響するものと考えられる。総合的な学習の時間の減少が修学旅行の活動意欲の減少にならないよう留意したいところである。

(4) 修学旅行を単に 3 学年だけのものと考えないで 1 年生の段階から系統性を持たせた活動の集大成と場と考えられるよう取り組み方への工夫が大切である。